

売上現状は若干改善、しかし冬場に向け消極的な見通しも

——仕入単価判断では『高止まり』の回答増える

景気見通し調査

調査概要

【調査時期】平成18年11月29日(水)～12月4日(月)
 【調査方法】ファックスにより送付、回収
 【調査対象】福井商工会議所 会員事業所 (小規模事業所) 2,200件
※小規模事業所…製造業・建設業・運輸業の内、従業員20人以下の事業所および商業・サービス業・その他の内、従業員5人以下の事業所
 【回答企業】441社 (回収率:20.1%)
 【内訳】
 繊維製造業 29社 (6.6%)
 その他製造業 77社 (17.5%)
 建設業 127社 (28.8%)
 卸売業 67社 (15.2%)
 小売業 48社 (10.9%)
 サービス業 53社 (12.0%)
 運輸業 9社 (2.0%)
 その他 31社 (7.0%)
 合計 441社 (100%)

平成18年12月調査総括

①小規模事業所の景況感
 現状はほぼ変化なし、冬場は悪くなるの見通し
 業界内の現在景況は、前回(平成18年9月調査)と比べると「やや悪い」の割合が1.7ポイント下がり、「普通」の割合が4ポイント増えている。今後3ヶ月については、悪くなるという回答する事業所が多かった。

②売上(出荷)高・採算状況
 売上については、まず、現状については前回より若干改善が見られた。D1値も5.4ポイント改善されマイナス13ポイントとなった。しかし今後についてのD1値はマイナス28.6ポイントとなり、冬場に向けて売上が減少すると見



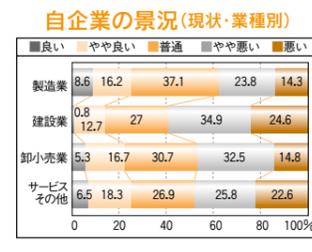
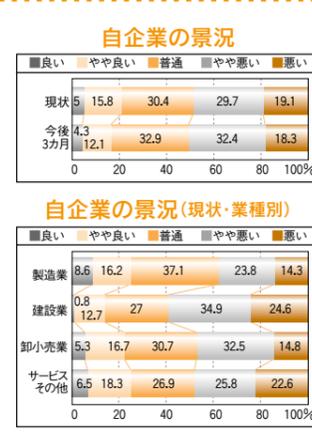
業界内の景況感

前回と比べると「やや悪い」の割合が1.7ポイント下がり、「普通」の割合が4ポイント増えている。今後5年間で事業を承継する具体的な予定がある事業所は30.1%。なお、今後事業承継を検討している事業所のうち、誰を後継者と予定しているかについて回答を求めたところ、「子息子女」が60.2%、「非親族の役員・従業員」が16.2%、「その他親族」が5.6%となった。

4ポイント増えている。業種別では建設業が現状について70%、卸・小売業では64.9%が「やや悪い」「悪い」と回答。製造業で「良い」「やや良い」と回答する事業所が23.5%と、他業種に比べ若干良好な傾向が出ているものの、景況は悪くなる見通す事業所が多い。

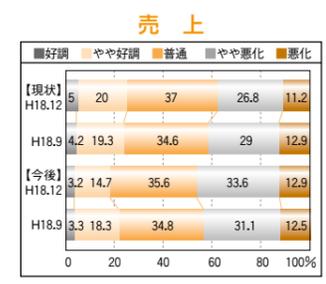
自企業の景況感

現状・今後ともに、「悪い」「やや悪い」が約半数を占めている。業種別では、製造業で、「良い」「やや良い」の割合が、現状について24.8%、今後3ヶ月について22.7%となり、他業種と比べると前向きな回答が目立った。一方、建設業では、「悪い」「やや悪い」が現状について59.5%、今後について62.5%を占めており、冬場の受注減を予想してか、消極的な傾向にある。



売上(出荷)高

前回調査と比較すると、現状について

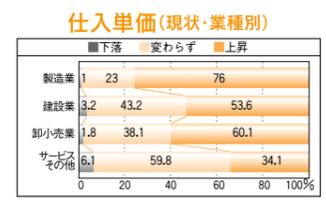
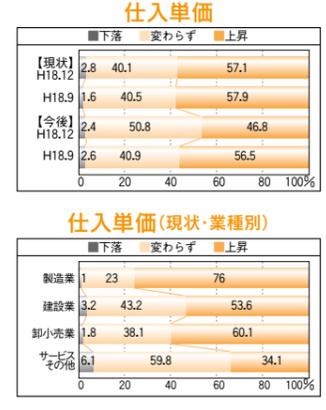


※D1値=(良い+やや良い)-(悪い+やや悪い)
 D1値とは…ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、「増加」「好転」した等とする企業割合から、「減少」「悪化」した等とする企業割合を差し引いた値である。

は「やや悪化」「悪化」の割合が若干減っており、改善しているものの、今後3ヶ月については「やや悪化」「悪化」の回答が増えている。また、D1値についてみると、現在についてはマイナス13.0ポイントと前回より5.4ポイント改善(前回マイナス18.4ポイント)。今後3ヶ月については、現状との差異は15.6ポイントのマイナスである。業種別では、製造業のD1値が、現状マイナス1.9ポイント、今後3ヶ月マイナス9.7ポイントと他業種に比べ好調な意見の割合が多いもののポイントを下げた。

仕入単価

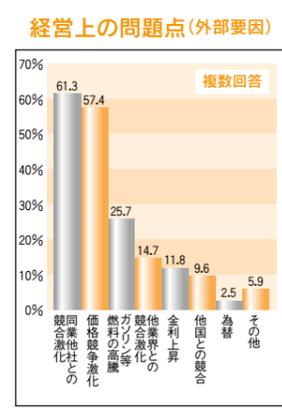
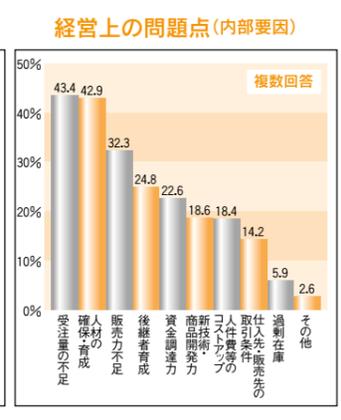
今後3ヶ月については「上昇」が46.8%と前回より9.7ポイント下がり、8%と「変わらず」が50.8%と前回より10.7ポイント上昇している。業種別で見ると、製造業では76%が現在の仕入



価格を「上昇」と回答し、原材料費高騰の影響が見受けられる。一方、サービス業では、「上昇」という意見が現状については34.1%、今後3ヶ月についても24.1%と他業種に比べ少なく、仕入単価の安定化傾向がうかがえる。いずれの業種も今後3ヶ月において「変わらず」の割合が増え、高止まりと予測する事業所が約半数となっている。

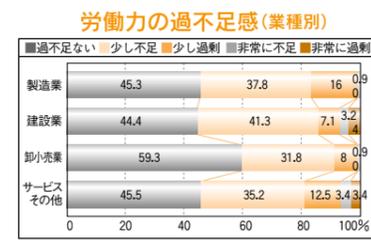
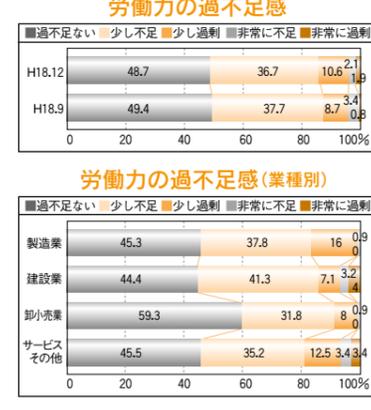
経営上の問題点

内部要因としては、「受注量の不足」が43.4%となり、特に建設業に多く見られた。次いで「人材の確保・育成」が42.9%、「販売力不足」が32.3%で卸小売業の回答が多い。一方、外部要因では、「同業他社との競争激化」が全業種を通して回答が多く61.3%、「価格競争激化」が建設業に多く見られ57.4%、以下「ガソリン等燃料の高騰」が25.7%と続いた。



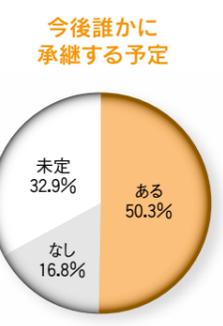
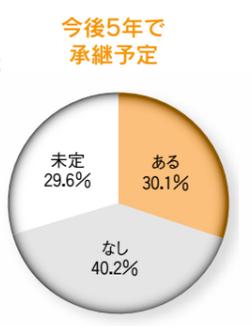
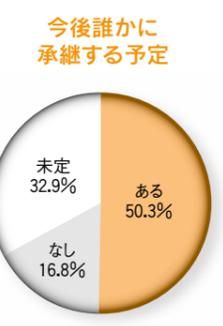
労働力の過不足感

前回とほぼ同じ傾向となった。約半数の事業所が「過不足なし」と答えているものの、「少し不足」と答える事業所も多くあった。業種別では、卸小売業において「過不足なし」との回答が特に多い。



事業承継について

事業を今後誰かに承継する意志があるかという問いに対し、50.3%が「ある」と回答。また、今後5年間で事業を承継する具体的な予定については、「ある」が



30.1%、「なし」が40.2%となっている。なお、今後事業承継を検討している事業所に、誰を後継者にする予定かについて回答を求めたところ、「子息子女」が60.2%、「非親族の役員・従業員」が16.2%、「その他親族」が5.6%となった。一方、事業承継の意志が「ない・未定」と答えた事業所については、現段階では「決まっていない」との回答が約半数、「廃業予定」の回答が約1割となっている。